

## 2023年4月16日 復活節第二主日礼拝説教

### 「閉じた心が開かれる時」(ヨハネ20章19～31節)

#### ○ヨハネ20章19～23節について

救い主イエスが復活された「週の初めの日」(19節)、弟子たちは、マグダラのマリアから「主を見ました」(18節)と聞いても、〈キリストのよみがえり〉を信じず、「ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた」(19節)。

☞弟子たちも、キリストに続いて「捕らえられるのでは」と考え、家の中に閉じ籠り、息を潜めていた。そこに、よみがえられたキリストが来られて、彼らの「真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた」(19節)。

\*平和：(神との)平和、和解 (神の与える)平穏、安心

※きょうもキリストは礼拝の只中に立ち、「わたしにあって神の救い、罪の赦し、心の安らぎがある」と語られる。

#### ○ヨハネ20章24～29節について

「トマスは、(よみがえられた)イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった」(24節)ので、ほかの弟子たちが「主を見た」(25節)と証しをするも、「キリストの御体に触れぬ限りは信じない」と言い張り、頑なな心を改めなかった。

☆神の子イエスは、再び弟子たちの間に立たれ、「平和があるように」(26節)と語られた後、トマスが信じられるため、彼の手と指を〈復活の御体〉に当てるよう導かれた。

#### 今日のみことば：ヨハネ20章27節

「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

【直訳】あなたは、いま疑うことをやめて、信じなさい。

※いま救い主イエスは、あなたの心の〈真ん中〉にも立ち、手の釘跡、脇腹の刺傷を見せられ、「あなたのためにも復活した」と語られるので、トマスの如く「わたしの主、わたしの神よ」(28節)と答えて、この方に依り頼もう。